長谷部　敬之（２１期）

２０１５年度　オフィシャル活動報告

１、目標

現役と話し、２０１５年度インカレミドルにて以下の成績をとることを年間目標としました。またミドルセレ、インカレロング、ロングセレにもそれぞれ目標をたてました。稲田（２３期）は男子の中でも成績が良かったため、別に設けています。

ロングセレ

女子２人（小川（２３期）、椎名（２３期））：エリート通過
稲田：全体の５０％位以内
男子：全体の７５％位以内
一年：全体の７５％位以内

インカレロング・スプリント

女子エリート：５０％
男子：５０％
一年：７０％

ミドルセレ

女子３人（小川、椎名、勝山（２５期））：エリート通過
男子：一般Aクラス通過（上位平均タイムの 1.5 倍以内）

インカレミドル

女子エリート：５０％
小川：一般５０％
稲田：Aクラス５０％
男子：Bクラス５０％

インカレリレー

女子エリート：入賞（６位以上）
男子エリート：最下位争いからの脱却

２、活動報告

2015.06 関東学連ロングセレ
2015.07 紫陽花合宿
2015.08 夏合宿
2015.10 インカレロング・スプリント
2015.12 ミドルセレ前練習会
関東学連ミドルセレ
2016.03 インカレ前練習会
インカレミドル・リレー

以上の大会・練習会にオフィシャルとして参加しました。主に現役生への指導やスタートゴールでのサポート、アナリシスの添削です。アナリシスに関しては各大会では現役生の自主性に任せ、インカレに関するものは絶対提出としました。

２－１、ロングセレ

栃木県日光市『日光口』、学生２５名、ＯＢ／ＯＧ４名

１年生の勝山佳恵がＷＦクラス６位入賞、３年生の小川茉乃がＷＥクラス 8 位でインカレロング関東地区代表選手になりました。

２－２、紫陽花合宿

栃木県日光市『日光例幣使街道』『日光所野』、学生２７名、ＯＢ／ＯＧ１４名

今年度は紫陽花合宿でも E カードを導入しました。１９日は例幣使でサーキットをし、夜にその反省を行いました。反省ではグループに分け、上級生を指導役にあてました。サルオリによる指導も考えていましたが、反省が長引いたこと、例年寝る人が多いこと、合宿前に予習させていたこと、夏合宿のテストの出題範囲としたことなどから中止しました。

２－３、夏合宿

１，２日目　山梨県北社市、『八ヶ岳レジャーセンター』
３日目　長野県諏訪郡、『信州八ヶ岳高原』
４日目　山梨県北社市、『瑞牆の森』

１日目に黄門杯の下見をしたところ、キャンプ場管理者からキャンプ場横の道は立ち入り禁止であると注意がありました。地図上では立禁表記がありませんでしたが、渉外の椎名に報告し、夜にコースの変更調整をしました。２日目に途中参加の OB と情報を共有し、設置を行いました。１日目、２日目の夜は現役生への筆記テストを実施し、技術や知識の確認と補強をしました。３日目は試走と給水位置の確認をし、４日目は黄門杯の運営を行いました。スタート・フィニッシュ・救護所の３チームに分け、各チームのリーダーとの連絡を密に行いました。レース終了後は現役とともに撤収です。

２－４、インカレロング・スプリント

スプリント部門、『富士見高原リゾート』

ロング・ディスタンス競技部門、『富士見の森２０１５』、学生１６名

インカレではスプリント選手権クラスに椎名麻美が、ロング選手権クラスに小川茉乃が選ばれていたため、チームオフィシャルとして参加しまた。

スプリント結果

椎名はタイムが１５：１３と全体の５位に迫るタイムだったのですが、会場の中を横断するテープ誘導を無視してしまいました。私はエリート選手スタート地区から会場へ移動していた時だったため見ることはできませんでしたが、本人から確認がとれたので自己申告という形で本部へ報告してもらい、DISQとなりました。ご家族が応援にいらっしゃっていたので、非常に残念です。

ロング結果

WEクラスに参加した小川は１：３３：３５で４６人中３５位という結果になりました。

一般クラスについて、一年生女子の勝山佳恵がＷＵＦクラスにて1位と、素晴らしい成績でした。また椎名がＷＵＬクラスにて4位、男子は二年生の座波朝輝君がＭＵＳクラスで5位となりました。残念ながら、一般クラスは3位までが受賞だったので二人とも入賞とはなりませんでした。

２－５、ミドルセレ前練習会

栃木県矢板市、『矢板山苗代』

番匠峰古墳と同じ状態に近い矢板山苗代を練習テレインとしました。メインレースのコースを設定し、運営しました。

２－６、ミドルセレ

栃木県矢板市、『番匠峰古墳』、学生２６名

今年度からインカレミドルの選手権クラスが１つになり、関東地区では男子が上位２０名、女子上位１２名に参加資格が与えられます。女子は3人がセレクションに参加し、勝山が5位、椎名が１２位でゴール・選手権通過となりました。男子からは１８人がセレクションに参加しましたが、残念ながら通過することはできませんでした。また一年生の中で５人がMFクラスに参加しました。籠田君が1位でゴール、久しぶりのオリエンや上級クラスに自信がないという人もいましたが、無事全員帰還しました。

２－７、インカレ前練習会

栃木県矢板市、『矢板幸岡』、学生１６名、福島大５名、早大５名、ＯＢ／ＯＧ５名

サーキットの一部とメインレースを作成しました。今回は茨城大学だけでなく福島大学と早稲田大学の現役生・OB が参加されました。茨大 OB５人では設置、試走が間に合わずスタート時刻が３０分ほど遅れてしまいました。またテレインの一部が伐採により通行に支障がでると予想されたため、サーキット・レースの一部が変更となりました。

２－８、インカレミドル・リレー

ミドル・ディスタンス競技部門、『塩谷熊ノ木』

リレー競技部門、『自然休養村』

学生１９名

オフィシャルとして 2015 年度日本学生オリエンテーリング選手権大会に参加しました。現役生の引率、選手権クラス参加選手の特別会場でのサポート、宿でのミーティングを行いました。

３月１２日（土）ミドル・ディスタンス

女子選手権クラス WE に椎名、勝山が出場し、勝山が９位、椎名が１４位となりました。女子一般 A クラス WUA では小川が８７人中４位、男子 MUA では稲田が７１人中２１位となっています。

３月１３日（日）リレー

女子選手権 WER は小川、椎名、勝山という出走順でした。２走椎名がゴールした時点で２８チーム中３位でしたが、３走の勝山が６ポをタッチミスまたは見逃し、DISQ となりました。タイム的には変わらず３位でしたので非常に残念です。男子 MER は圓山（２３期）、井坂（２３期）、稲田が参加しました。２４チーム中２０チームが完走し、茨大は１９位で最下位争いとなりました。男子一般MURは茨大から３チームが出場し、２チームがDISQ、１チームが１４５チーム中１０８位となりました。年度最後の大きな大会で、DISQ が多く出でしまいました。

３、結果

ロングセレ　参加者２５人…目標達成者７人

小川、椎名：エリート通過	…１人	小川８位（通過）、椎名２９位（不通過）
稲田：全体の５０％位以内	…０人	稲田９９位（８３％）
男子：全体の７５％位以内	…０人	
一年：全体の７５％位以内	…６人	（勝山、海谷、盤野、島田、横林、安藤）

インカレロング　１６人…５人

小川（WE）：５０％	…０人	小川３５位（８１％）
椎名（WUL）：なし	…１人	椎名４位（４％）
男子：５０％	…１人	（座波 MUS）
一年：７０％	…３人	（勝山、伊原、島田）

ミドルセレ　２６人…３人

小川、椎名、勝山：E 通過	…２人	勝山５位（通過）、椎名１２位（通過）
		小川１８位（A 通過）
男子：一般Ａ通過	…１人	稲田３７位（A 通過）

インカレミドル　１９人…９人

勝山、椎名：５０％	…２人	勝山９位（２７％）、椎名１４位（４２％）
小川：一般５０％	…１人	小川４位（４％）
稲田：Ａクラス５０％	…１人	稲田２１位（３０％）
男子：Ｂクラス５０％	…５人	（杉原、圓山、信太、小林、川崎）

インカレリレー　２チーム…０チーム

女子エリート：入賞	…０チーム	DISQ
男子エリート：最下位争いからの脱却	…０チーム	１９位／２０位（最下位争い）

４、まとめ

今年度は勝山（女子、２５期）が１年生でありながら活躍し、表彰台を狙える女子が３人そろいました。最後のインカレリレーでは残念ながら DISQ となってしまいましたが、入賞タイムであり、今後に期待できます。参加率は１年生（２５期）が多いためか全体的には向上した一方で、２年生（２４期）のみを見ると減少傾向にあります。飲み会の参加率は高いのですけどね。

今年度からはインカレリレーの部内選考大会であっても、自分に合った参加クラスを選ばせました。ゴールできないと楽しめない、自信がつかない、技術が身につかないと判断したためです。おかげで DISQ の数は減ったのですが、インカレリレーの一般はクラスが選べなかったためか、９人中３人が DISQ となりました。

年間目標は例年の成績から考えて厳しく設定しましたが、女子は半分以上達成できたかと思います。一方男子は数字でいうと達成率３４％と低く、また達成したほとんどが、下のクラス（インカレミドル MUB クラス等）での成績になっています。男子は昨年度から稲田（次年度４年生）の一強となっているため、新人の育成が必須となります。

アナリシス提出・添削方法について、今年度はインカレに関係するものは私と小栗（２１期）、三上（２１期）が添削し、ほかの大会は現役の上級生が見るという形にしました。１年生を見ると、アナリシスを書いた人は成績が伸びているので無駄ではありません。しかし、赤ペン先生ではこれ以上のレベルアップは望めないと思います。Doropbox 等に投稿して皆がアクセスし、コメントを書く。大会後の水曜日、できれば当日か次の日に集まって、意見を出し合う。といった仕組みがいいと思います。前者は OB・OG も参加することができ、また大会後すぐにできます。後者はやはり直接教わることで理解につながります。

各大会で毎度のように言いましたが、やはりストレッチは言われないとしないようです。ラジオ体操のように、高校の体育の初めのように集まってストレッチをするよう指導するべきですね。他大でやっているところがあったので採用してほしいです。今年度は怪我が少ないように感じましたが、ストレッチのおかげだと思いたいです。

年間目標が半分も達成できなかったことを非常に残念に思います。昨年度西名さんがおっしゃった、選手権クラスに出ることを目標にする、つまり競技指向として上を目指す姿勢は女子２人と稲田、そして 1 年の一部からしか感じませんでした。競技指向か趣味かで分けて年間目標を設定し、現役一人ひとりと面談するべきなのでしょうか。オフィシャルを引き受けるときに部長や運営学年と話し合うべきこととして、次のオフィシャルに引き継ぎたいと思います。

皆様のおかげで練習会、大会は現役生のレベルアップにつながるものでした。男子はこれから基礎を固め、女子は世界に羽ばたくと思いますので、今後ともよろしくお願いします。初めてのオフィシャルでしたが、多くのご協力ありがとうございました。